



男女共同参画ってなあに？ Part 88

あなたは自分の「アンコンシャス・バイアス」に気づいていますか

アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の思い込み」、「無意識の偏ったモノの見方」のことを言います。

身近な「アンコンシャス・バイアス」の一例を挙げてみると…

- ・血液型で性格を想像してしまう
- ・外見や学歴で相手を決めつけてしまう
- ・看護師と聞いてまず女性を思い浮かべる
- ・出身地でお酒が強い人かどうかを想像してしまう



アンコンシャス・バイアスは誰にでもありますし、今までの経験や見聞したことに影響を受けて、培われていくものですので、それ自体が問題ではありません。

しかし、自分の無意識の思い込みによって、知らない間に相手を傷つけたり、キャリアに影響を及ぼしたり、自分の可能性を狭めてしまうなど、様々な影響があるので注意が必要です。時には、ハラスメントや不公平を生み、組織や社会の「見えない障害」となります。

問題なのは、自分のアンコンシャス・バイアスに気づかないことにあるので、「自分の偏見や言動が周囲に悪影響をもたらすのではないか」という意識を持続することが大切です。私たちひとりひとりのアンコンシャス・バイアスへの気づきが、多様性を認め合う社会の実現に繋がっていくのです。「これって私のアンコン!？」と問いかけてみませんか。

問い合わせ先 政策企画課 政策企画係 ☎68-2211 (内線333)

SDGs とは？



目標5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

「あらゆる場所における全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する」をはじめとした9つのターゲットが掲げられています。



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。



認知症地域支援推進員のつぶやき 36

～もしかして、認知症？～

最近、祖母の葬儀をきっかけに久しぶりに親類が集まった時の話。
久しぶりに会う叔父や叔母、従妹、とても素敵な時間を祖母からもらいました。ただ、その時に感じた違和感。
叔母が同じ話を繰り返ししている。叔父が「何度、同じ話をしてるんだ」と注意をし、いつもこうなんで困ると話をしています。
以前とは違う様子の叔母について「いつからあんな感じなの？」と叔父に聞くと「前からおしゃべりであんな感じだろう、話がしつこいんだよ」と不機嫌そうでした。
私は認知症を疑い、叔父に説明をし、困っているのならと叔母の受診を勧めてみましたが、受け入れるのには時間がかかりそうです。
毎日一緒にいる家族はなかなか気づけないのだなと思った瞬間でした。
認知症とは違う病気かもしれないけれど、人生100年時代、家族がいつまでも仲良く一緒にいられるよう、認知症も病気も、もしかしたら？と思ったら早めの受診が必要ですね。



私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- 地域包括支援センター ☎68-8941
- 複合施設 響 ☎68-8500
- 居宅介護支援事業所
介護老人保健施設もえぎ野 ☎68-6081



福祉コラム 知って欲しいなマークの意味 Vol. 7

障害者に関するマークについて【このマークを知っていますか？】

障害者に配慮した施設であることや、それぞれの障害について分かりやすく表示するため、いろいろなマークや表示があります。

右記のマークをご存知でしょうか？

耳マークは、聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。

聴覚障害者は見た目には分からないために、誤解されたり、不利益をこうむったり、社会生活上で不安が少なくありません。

福祉課と保険年金課にはヒアリンググループと言って難聴者の聞こえを支援する設備を用意しております。

窓口の対応などご利用できますので、お気軽にお声掛けください。

問い合わせ先 福祉課 ☎68-2211 (内線128)



耳マーク